



アメリカ

ワシントン D.C.

2013 年 7 月～2015 年 8 月滞在
(2020 年記)

子どもの年齢： 第一子 G7～G8 (12 歳～14 歳) 現地校
第二子 G4～G5 (9 歳～11 歳) 現地校

基本情報

気温	夏は非常に蒸し暑い 春と秋は日本に比べて少々短い 冬は東京に比べると寒く、休校になるほどの降雪も年に数回ある
緊急電話	警察、消防、救急 911
電圧	120V 三つ穴プラグ 二つ穴の日本製品も使えるが、変圧器を使う方が安心
水	水道水はそのまま飲めるが、ミネラルウォーターを購入するのが一般的

買い物

日本の物	日本食レストラン(日本人経営とは限らない)は D.C.市内・近郊に何軒かある 日本食材は、D.C.市内・近郊に数軒ある日系の小さい個人商店や、韓国系・中国系スーパーで大体手に入るが、値段は高い 日本特有の家電(パン焼き器・タコ焼き器など)や食器(和食器・土鍋など)は、日本から持参した方がよい 日系の書店はない
食料品	生食できる卵や鮮魚以外であれば、食材は現地のスーパー(Giant・Trader Joe's など)で大体手に入る 現地のスーパーにも醤油・豆腐や寿司(のようなもの)など一部の日本食・食材がある WHOLE FOODS ではサラダバーやデリコーナーが充実している 冷凍食品の種類が豊富 商品一つ一つがどれも大きいため、冷蔵庫を地下室などにもう 1 台持つ家庭もある
日用雑貨	雑貨は、現地の大型スーパーやショッピングモールで大体揃う 現地系の 100 円ショップ(Dollar Tree)もあるが、商品の質は日本ほど良くない 日本のピンチハンガー・小型のタオルハンガーがあると、乾燥機に入れたくない洗濯物を干すのに便利 日本から持って行った家具は現地では小さく見え、逆にアメリカから持ち帰った家具は日本の住居には入らないというケースが多い
学用品	文房具は現地の文具店(STAPLES など)で大体揃うが、品質(消しゴムの消し心地など)は全体的に日本製の方が良い 夏休み中に学校から送られる新学年用品リスト(Back to School List)を持参して文具店で購入する 辞書類(電子辞書・国語辞書など)、漢字ノート、下敷は日本から持参した方がよい 書道セットや折り紙は日本文化紹介の時にあると便利
衣類	S サイズも含め各サイズ揃っているの、子ども用・大人用共に現地でほぼ揃う デザイン・色使いも、地味なものから華やかなものまで色々ある

返品は店舗もネットも日本より容易にできる
浴衣や甚平があると International Night(後述の学校行事)で便利
クリーニングは近所の韓国人の経営する店を利用していた

交通

公共交通 D.C.市内・Maryland 州(以下 MD)・Virginia 州(以下 VA)にメトロ・バスが通っている
郊外に住む場合は自家用車が不可欠

運転免許 D.C./MD/VA https://www.us.emb-japan.go.jp/j/certificate/Drivers-handbook_for_DC_MD_VA.pdf
MD または VA に居住の場合、数年前に日本政府が両州政府とそれぞれ合意したことにより、日本の運転免許証を保有していれば現地での学科試験と技能試験が免除されることとなった
D.C.に住む場合は、日本の運転免許証保有により技能試験は免除されるが、学科試験(日本語可)を受ける必要がある
手続きや必要書類などの詳細は各州それぞれ異なるため、上記サイトを参照

住居

住宅事情 メトロ駅近くに居住の場合は高層マンション、郊外に居住の場合は一軒家やタウンハウスが多い

日本人が多く住むエリア 単身者は便利の良い D.C.市内、家族連れは D.C.市内より学区の良い MD、VA に居住することが多い
MD: Rockville, Potomac, Bethesda など
VA: McLean など

使用人 住み込みの使用人を雇う人は少ない
ベビーシッターやハウスクリーナーをお願いする場合は口コミで情報収集する
ベビーシッターは現地の日本人や子どもの同級生の姉に頼むケースが多い

治安セキュリティ D.C.北東部と南東部は治安が良くない
日本人の多い上記のエリアや D.C.の観光地周辺の治安は比較的良いが、こういうエリアでも子どもの一人歩きは避けたほうがよい
11 歳以下の子どもを一人で留守番させたり車中に置き去りにするのは法律で禁止されている(通報されるケースもある)ため、13 歳以上の姉と一緒に留守番させるかベビーシッターを手配する

教育

通った学校 Thomas W. Pyle Middle School (現地校)
Burning Tree Elementary School (現地校)
両校とも、駐在当時は日本人家族が 10~20 家族程度(駐在・永住合わせて)在籍していた
全日制の日本人学校はない

通った学校の詳細 通っていた MD の Montgomery County は教育熱心な家庭が多い
上記 Middle School の ESOL は 5 段階のレベル別になっており、授業内容も大変充実していたが、Elementary School の ESOL は学年によって充実度にバラツキがあった

塾家庭教師 MD の Bethesda に日本の塾 ena がある <http://www.ena-kikoku.com/school/washington>
上記の Bethesda に補習校(ワシントン日本語学校)もある <https://www.wjls.org/>

	小学生以上は、現地校の授業についていくために、最初の1~2年は家庭教師をつける場合が多く、日本人の口コミで紹介してもらおうとよい
習い事	現地の教室ではテニス・空手・スケート・バレエ・音楽教室など各種あり、日本人も多く通っている ピアノは日本人の先生もいる
アドバイス	小学校では、交友関係が広がるにつれて、誕生日やお泊り会(スリープオーバー)の機会が徐々に増えていきます。また、誕生日の子どもがクラス全員にカップケーキを振る舞う学校もあります。 友達との放課後の付き合い(プレイデート)は、子ども同士で日にちを約束してきた後に、親が連絡を取りあい、当日の朝にその友人と同じバスに乗せたい旨を学校に連絡する、という手順で進みます。日本と違い、手土産は不要で気楽なお付き合いです。下の子(小学生)は、平日の宿題がそれほど多くなかったため、プレイデートも頻繁でしたが、上の子(中学生)は、日々のレポートや宿題をこなすのに精一杯で、プレイデートは主に週末に楽しんでいました。 中学校には、日本のようなホームルームはなく(授業ごと移動する)、担任もいないので、何か相談したい場合は、担当のカウンセラーと主にメールで連絡を取り合いました。 小・中とも、冬の間は雪で休校になったり学校の始業時刻が変わったりしますが、その際は、メールで早朝に連絡が来ます。 夏休みは6~8月の2か月と長いため、多くの子どもたちはサマーキャンプに参加します。スポーツ系・アート系・音楽系など様々な種類があります。我が家は Montgomery County の主催する通いのキャンプにいくつか参加しました。人気のサマーキャンプはすぐにいっぱいになるため、年明けから、口コミでの情報収集やHPをこまめにチェックすることをお勧めします。

病院

医療事情	医療は発達している 病院によっては保険の適用が違うので、事前に確認することが必要 現地校に通う際には、B型肝炎などの日本では義務化されていない予防接種も各種必須である 出国前に日本で打てるものはできる限り打って英語の接種証明書をもらっておくと、現地で接種に向く回が少し少なく済む(現地の注射は雑で痛かった) 母子手帳も持参していくとよい
日本人医師	医師・歯科医師など数人在住 https://www.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/medical.html
薬品	薬は種類も多く、ドラッグストアで安く購入可能 薬は粒が大きく飲みにくい上に、小柄な日本人には効きすぎることもあるため、飲み慣れた薬は日本から持参した方がよい 現地の体温計は華氏表示のため、日本から持参した方がよい

交流

日本人	ワシントン日本商工会 http://jcaw.org/main/ 子どもの学校を通じてのお付き合い 補習校に通う場合は、周辺各地から通う日本人家庭との繋がりも増えることが期待できる
現地の人	分からないことは周りに聞けば気さくに教えてもらえる ご近所とお付き合い

	<p>子どもの学校や習い事を通じてのお付き合い</p> <p>通っていた小学校での保護者のボランティア活動(図書館のカウンター業務手伝いなど)</p> <p>PAPER SOURCE(文具・ラッピング専門店)や JOANN(手芸用品専門店)など、店舗で単発のワークショップを開催している所もあるので、興味に応じてネットで探してみるとよい</p>
駐在外国人	<p>大学などが行う大人向けの語学クラスもある</p> <p>現地校には駐在外国人も多く在籍するため、様々な国の保護者とも知り合いになれる</p>

伝えたいこと

ワシントン D.C.は、アメリカの首都ながら、人口は約 70 万人と中規模です。D.C.市内は霞が関や永田町のような街並みが整然と続く一方、MD や VA の郊外には、緑豊かな住宅街が広がります。庭にはリスや野ウサギも遊びに来るほか、初夏には蛍も見られます。車で 1 時間半走れば、アパラチア山脈のシェナンドー公園で大自然も満喫できます。

世界各国から駐在家族が集まるため、現地校には色々な国籍の子どもたちが在籍しており、クラスメイトや保護者の皆さんも、転勤族の我々をすぐに温かく迎え入れて下さったのが印象に残っています。

現地校での年に一度のイベント International Night は、50 か国程のブースが出て大いに盛り上がります。国紹介のパレードでは、日本の子どもたちは浴衣や甚平で練り歩き、日本のブースで巻寿司や稲荷寿司を振る舞ったり折り鶴を教えたりして日本をアピールします。

秋にはハロウィンの仮装行列、冬はバレンタインパーティーと、日本では地域や家族、友達と個別に楽しむようなイベントも、アメリカでは学校行事として行われていました。パーティーの盛んなお国柄の故か、自宅以外(遊園地やボーリング場など)での誕生会や、緑の服を着ていく聖パトリックの祝日パーティーなど、日本では思いも付かないような各種の集まりに招かれたのが子どもたちには楽しかったようです。

ワシントン D.C.での駐在を満喫されますことを心よりお祈りしております。